

教えて！ オーストラリア



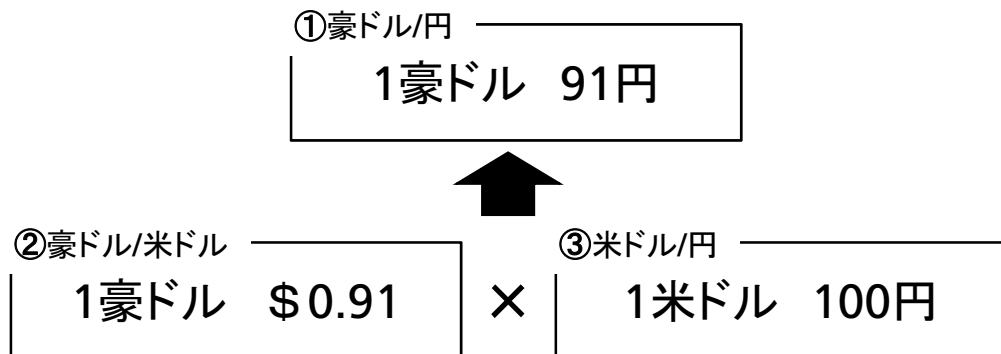
問4

豪ドルの下落余地はまだありますか？

答4

今後の豪ドルの見通しについて考える前に、豪ドルの為替レート決定の仕組みをみてみましょう。

■豪ドル(対円)決定の仕組み(イメージ)



このように、豪ドル/円(①)は、豪ドル/米ドル(②)と米ドル/円(③)の為替レートによって決定しています。なぜなら、米ドルが、その取引量の多さなどから世界の基軸通貨となっているため、米ドルを中心とした為替レートの動きに注目することが重要です。

足もとでは、オーストラリアの利下げや、米国の量的金融緩和の縮小観測などから、豪ドル/米ドル(②)は弱含みの展開が予想されていますが、日本では日銀による異次元金融緩和などを背景に、米ドル/円(③)は円安が継続するとみられています。これは、豪ドル/円(①)を下支えすると考えられます。

また、オーストラリアの利下げがある程度織り込まれていることを考慮すると、豪ドル/円(①)は底堅く推移することも予想されます。

豪ドル/円(①)	=	豪ドル/米ドル(②)	×	米ドル/円(③)
		弱含み		円安継続

上記はイメージであり、実際の為替レートを示唆するものではありません。

※上記の投資環境や見通しは、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆、保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。

本資料ご使用にあたってのご留意事項

投資信託のリスクおよび費用は投資信託ごとに異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面でご確認ください。

なお、以下に記載するリスクおよび費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収する各費用における最高の料率を記載しております。購入のお申込にあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。

投資信託のリスクについて

投資信託は株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資家の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、元本を割り込むことがあります。また、投資信託は、預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。

投資信託のリスクは投資対象資産の種類、投資制限、取引市場、投資対象国等により異なります。

※詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面をご覧ください。

投資信託の費用について

投資信託のご購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。

【直接ご負担いただく費用】

- ・購入時: 購入時手数料 上限3.675%(税抜3.50%)
- ・換金時: 信託財産留保額 上限0.7%

【保有期間中に間接的にご負担いただく費用】

- ・運用管理費用(信託報酬) 上限約2.45%(税込)(ファンドオブファンズの投資先ファンドの概算値を含む)
- ・その他の費用(監査報酬、有価証券売買委託手数料、信託事務の諸費用等)をご負担いただきます。

※これらの費用の額および計算方法等は、投資信託毎に異なります。詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面等にてご確認ください。

設定・運用は、

商号等	UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第412号
加入協会	一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できる情報をもとにUBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。